

はしもと 修一通信

町政・議会報告
Vol.16



寒川町議会議員
ケアマネージャー

はしもと 修一

町民の皆様こんにちは。今期（4年間）は2期目として、「ぬくもりのある、幸福社会 さむかわ」を実現する5つのビジョンを掲げ、ご意見・ご要望に対しても丁寧に対応させていただくよう心がけ、政策実現に向けて邁進してまいりたいと思います。何卒宜しくお願い申し上げます。

3月会議一般質問

寒川町に「いじめ防止条例」の制定を

全国のいじめ認知件数が過去最多になる中、町のいじめの主な理由として、小・中学校とも「冷やかしからい、悪口や脅し文句を言われる」、「嫌なことを言われる」が全体の大部分を占めています。小学校で次に多いのは、「軽くぶつかられたり、ふざけてたたかれたり、蹴られたりすること」、中学校では、「嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする」となっています。

背景として、コロナ禍後に子どもたち同士の関わりが増える中、自己の感情のコントロールがうまくいかなかったり、考えをうまく言葉等で伝えられなかったりすることがトラブルの原因になっているのでは、との回答があり、コロナ禍の過度な制限等で人間関係をつくる活動が十分に行えなかった影響を文科省も指摘しています。学校は、指導を通して自立心や課題解決能力等を育み、いじめの未然防止、問題解決に向けて、学校だけではなく、家庭や地域、関係各諸機関等全ての関係者がそれぞれの役割を果たし、一体的に取り組めるように日頃から連携を図っているとのことでした。



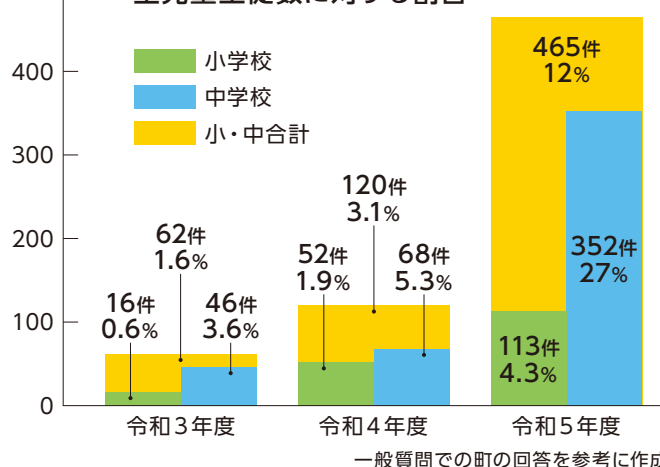
会議にて一般質問に立つ橋本。

学問を学ぶ前提として、人間形成において道徳や倫理観をはじめ精神性を高める教育が今、まさに求められていると感じています。また、認知数が増えた主な理由としては、いじめ防止対策推進法により、心身の苦痛を感じているものは幅広くいじめに該当するとなっていることから、一見些細なことでも積極的に認知していること、また、アンケートや教育相談の充実などによる見取りの精緻化、SNS等のネット上の認知が進んだことが挙げられています。

一問一答では、町のいじめ防止基本方針の取り組みを中心に質疑しました。

- いじめによる被害者の学習環境の確保について。
- 不登校の要因ともなっている校内教育支援センター（校内フリースクールの整備）の設置について。
- 相談体制（相談件数）と対応について。

●寒川町立小・中学校のいじめ認知数と全児童生徒数に対する割合



- 全児童生徒対象のいじめ防止のアンケート調査について。
- 保護者用いじめチェックシートの活用について➡早期発見、早期対応からも、各学校の現状や児童生徒の実態に応じてご家庭へ周知するとの回答。
- コミュニティ・スクール（以下CS）の関わりについて➡いじめの未然防止には学校だけでなく地域の力や理解も必要であると考えており、CSの推進を図りながら安全安心な学校づくりを進めていくとの回答。
- 自殺対策について➡2024年全国の小・中・高生の自殺者、重大事態も過去最多とされています。
- 木村町長に全国各地でいじめ防止条例を制定する動きがある中で、学校だけでなく、町全体でいじめから守る意識を醸成し、かけがいのない子どもたちがいじめに悩み苦しむことがないよう、将来にわたり心に傷を負って生きていくことがないよう、安心して学べる学校、地域社会をつくろうという趣旨で、条例制定を訴えました。

回答としては総合教育会議の中で取り組み、教育大綱の見直しを行う中で、実効性のある教育環境の整備に向けて取り組む指示を教育委員会に指示され、学校、地域、行政、また関係各機関と連携を進めていき、現時点では条例化に向けての考えはないとのことでした。

しかし、いじめ問題が深刻化する中、**学校と家庭、地域などの連携を広げるには町が条例を制定することが大変効果的と考えます。**町がいじめ問題を解決する姿勢を明確に示すことで、町民のいじめ防止に対する意識が向上し、法的根拠に基づいて児童・生徒、保護者、教職員等が守られることに繋がると考えます。

予算特別委員会

次のような質疑がされています。一部をご紹介します。

川とのふれあい公園内の仮設トイレの改善や更衣室の設置について

南小学校区（星の子クラブ、おひさまクラブ）の待機児童解消の取り組みについて

全国の不登校数が過去最多の中、校内教育支援センター（公営のフリースクール）の小学校の設置について

防災無線がきこえないという町民の声の対応について



財源を見出ししながら整備していく必要があるため、検討している段階です。できるだけ早いうちに案をお示し改善に繋げていけたらと考えています。

現在39名の待機児童がいます。教室の利用状況等を確認しながら定員を増やすことができないか考えていきたい。今年はサマースクールを実証実験し、解消策に繋がるか検討していきます。

中学校は設置されていますが、町立の小学校においても徐々に不登校児童が増加しつつあることから、国や県の動向を鑑みながら校内支援センターの設置の必要性等について研究してまいります。

町内全域は音の伝達エリアをカバーしていますが、命に関わる内容のため、聞こえるよう調査研究していきたいと思います。令和8年度から子局の入れ替えを予定しており、計画的に位置も含めて見直しを行っていきます。



南部公民館祭でお茶出しや、駄菓子販売のボランティア活動をしました。たくさんの方々が祭りに足を運ばれました。



文教福祉常任委員会で4月に倉見幼稚園（認定こども園開園）に現地踏査をしました。床暖房をはじめ、子ども達の成長環境に適した整備がされていました。



さむかわエコネット目久尻川クリーン作戦に参加しました。橋の下のゴミを中心に回収できました。会員募集中です。



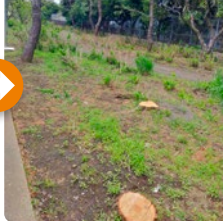
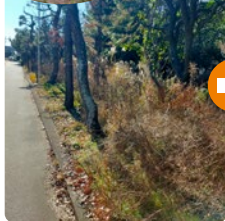
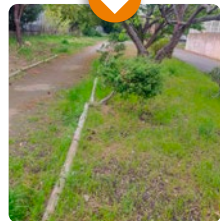
倉見緑道の伐採のご要望とポイ捨てが目立つところのご指摘をいただき、担当課に対応していただきました。

活動報告

第2回寒川町青少年問題協議会が開催され、研修会「青少年に関する相談内容の移り変わりとその対応方法について 講師 神奈川県青少年センター青少年サポート課」に出席し、ひきこもり等の対応や相談体制について学びを深めました。



寒川町がホームタウンの湘南ユナイテッドBCと立川ダイスの試合を寒川アリーナで観戦。湘南UBCチアリーダーズ、ハーフタイムに行われた劇団 TIP OFFのパフォーマンスも素晴らしかったです。



幸福実現党活動ご紹介

幸福介護ネットワーク代表・(一社) 埼玉県介護支援専門員協会相談役 長谷川佳和氏から、介護保険制度の課題や今後の介護のあるべき姿について、貴重なご助言をいただきました。



(左) 台北駐日経済文化代表横浜分処に幸福実現党祝賀首、荻岐神奈川県統括支部長、山中千葉県鎌ヶ谷市議会議員と表敬訪問をしました。台湾と地方の経済や文化の繋がりを幅広いお話をさせていただきました。(右) 横浜華僑總會への表敬訪問。



はしもと修一〈プロフィール〉

寒川町議会議員〈会派に所属しない議員〉／幸福実現党神奈川県本部役員兼寒川地区代表／公共施設再編整備対策特別委員会副委員長／総務常任委員会委員／文教福祉常任委員会委員／青少年問題協議会委員／寒川日台友好議員連盟事務局長／青少年指導員／視覚障がい者へのボランティア活動／さむかわエコネット会員／不登校児支援スクール「ネバー・マインド」相談員／「(一財) いじめから子供を守るネットワーク」相談員／「(一社) ユー・アー・エンゼル (障がい児支援活動)」相談員／介護福祉士／ケアマネージャー／養護老人ホーム湘風園勤務／元進学塾室長 好きな言葉：「われ以外みなわが師」「凡事徹底」 モットー：「現場主義」「心に寄り添う政治」

公式サイト
Facebook
X(旧Twitter)
Instagram



ご連絡・お問い合わせ TEL:080-7059-2541 E-mail: love.samukawa@gmail.com

発行：はしもと修一後援会 高座郡寒川町一之宮8-16-7

20250500